

■APRSとは(超概説)・・・ Bob Bruninga WB4APR のコメントより

2008/01/25 JAPRSX

2008年初頭からBob氏のアナウンスの至るところに「本来のAPRSの目的」が記述されています。誤った認識や運用に対して、強く是正を求めています。これから日本のAPRS局はさらに増加します。皆さんに強くお願いしたいのは、先ず[APRS-WG](#)の指針を概要だけでも理解し、彼らが示しているAPRSを少しでも理解して頂きたいということです。以下はBob Bruninga氏のアナウンスの骨子です。

■APRSの目的……Bob Bruninga WB4APR より]

・APRSの本来の目的は、人と人との間でアマチュア無線を介してリアルタイムにさまざまな情報交換を行うことです。しかしながら近年GPSやインターネットの普及により開発されてきた様々な機器、クライアントが、APRSの本来の目的ではない移動車両の追跡モニターに重点を置いてしまったため、多くのオペレーターや新規参加者がAPRSというものを車両追跡システム(トラッカー)と誤解してしまっています。

APRSは決して車両追跡システムではありません。

オペレーター全員が各種情報提供を行い、他局とのコミュニケーションを行うためのインフラ、システムです。APRSシステムはその目的を目指して仕様が決められ、インフラが構築され、運用規定が定められています。そしてこの様々な情報とは、ローカルのアマチュア無線運用状況や様々なイベント等、自局の周りで起こっていること全てを意味し、これらの情報を高い信頼性で出来るだけリアルタイムに共通のインフラに流通させるためのローカルデータチャンネルがAPRS周波数です。

またこれらのRFで流通する情報はネットワークに接続している全世界のAPRS局が受信することができ、共通化、標準化された表示形式で容易に確認することが出来ます。これらを実現するために、APRSには様々なガイドラインが設けられており、これらを遵守することにより世界中に張り巡らされたAPRSインフラが秩序を持って効率よく稼動することが出来ているのです。

さらにもっとも重視される移動局が、ローカル情報を確実に入手でき、また近傍の移動局や固定局と円滑なメッセージ交換が出来るよう、RFネットワーク構築のルールも策定しています。

- ・APRSは移動車両の追跡(モニター)システムではありません。
- ・APRSは移動局、固定局が自局周辺の様々な情報を円滑に、確実に入手できるようにネットワーク構築されるものです。
- ・APRSは全てのオペレーターが様々な情報をネットワークに発信するものです。

「APRSとは、主に双方向通信による移動体情報交換システムで、移動体はその周囲の環境、イベント等の全てをリアルタイム、かつどのような場所でも共通の手段で容易に入手できることにより、快適な通信運用を楽しむことができるシステムです」

ちなみに、APRS情報発信の基本はRFというのもとても重要なポイントです。なぜなら「APRSとは移動局が移動先各地域で有益な各種周辺情報を容易に入手できるようにするもの」でもあるからです。

たとえばVoIPのノード情報をInternetだけで流す（日本には沢山居ますね）のも、ほとんど無意味と言うことです。

■ [JAPRSX](#)からのお願い

日本には必ずしも欧米と同様のコンセプトで運用しなくてはいけないというものでもないという考え方があるようです。APRSを開発し、世界のネットワークを構築し、維持している方々が推奨している運用方法も、必ずしも従わなくても良いというご意見もあります。いろいろな考えがあるのは当然です。

しかしながら、たとえ「所詮趣味なのだから」といっても開発した方々のコンセプトや本来のシステムの機能や仕様を理解せず、はなから自己流でそのインフラを使うというのはいささか抵抗があります。私たち [JAPRSX](#)は、先ずAPRSの概要(<http://www.APRS.org/index.html>)だけでも理解し、その上で気に入らないところ、日本に合わないところを判断し、出来るだけ[APRS-WG](#)のガイドラインに沿った形で自分流、日本流の楽しい運用を見出して頂きたいと考えております。

ご賛同頂けますと幸いです。

2011/04/11 体裁修正